## 104-337

## 問題文

本症例に対し、薬剤師が処方医に対して行う対応の中で適切なのはどれか。2つ選べ。

- 1. アセトアミノフェンの1回量が過剰であることを疑義照会する。
- 2. アセトアミノフェンの1回量が不足であることを疑義照会する。
- 3. アセトアミノフェン細粒20%1回量2g、5回分への変更提案をする。
- 4. アセトアミノフェン細粒20%1回量1g、5回分への変更提案をする。
- 5. アセトアミノフェン細粒20%1回量0.5g、5回分への変更提案をする。

## 解答

2, 4

## 解説

体重 1 kg あたり  $1 \text{回} 10 \sim 15 \text{mg}$  なので 20 kg なら  $1 \text{回} 200 \sim 300 \text{mg}$  です。 シロップ 8 mL = 8 g です。 2 % なので、含有するアセトアミノフェンは  $8 \times 0.02 = 0.16 \text{g} = 160 \text{mg}$  です。不足を指摘する必要があります。

細粒にすると 1回量 2g であれば、20% なので 400mg となり多すぎます。 1 回量 1g であれば、20% なので 200mg で妥当です。1 回量 0.5g であれば、20% なので 100mg で少なすぎます。

以上より、正解は 2.4 です。